



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

令和2年5月11日 No.4

自宅での学習が続きます

不要不急の外出の自粛が求められる期間が長期間にわたり、閉塞感や言葉で言い表せない苛立ちを感じる人が多くなっているようです。「〇〇は延期します。」「〇〇は中止です。」などと、楽しみにしていたことがどんどん奪われるように感じ、誰を責めるわけにもいかない不満が日々蓄積しているかもしれません。そのようなときに、「今まで我慢してきたから、今日ぐらいは許される。」「ほんの少しの時間だから」「三密にならないように気を付ければ大丈夫」などと自分なりの理屈を考え、押さえられない自分の気持ちに対する言い訳を用意して、外出をしてしまうこともあるかもしれません。報道を見ていると、「今、世の中のみんなが我慢しているのだから、自分勝手な行動は許せない。」「なぜ、我慢できないんだ。厳しく取り締まればいいのに。」という論調が多い中、「そういう行為をしてしまうのは仕方ない。」「あまり厳しく規制すべきではない。」という考えもあります。出された意見の背景には様々な事情がありますので、いずれが正しく、いずれが間違っているというものではありません。

しかし、こうした報道に接して、自分の考えに近い方に味方したり、時には憤りを感じたり、時にはほっと胸をなでおろしたりしているのではないのでしょうか。多くの人が同様の状況に陥ってしまっていると思います。このことは中学生にも当てはまります。

さて、中学生にとって、最も不安なことは学習の遅れだと思います。特に3年生は、大事な進路決定に向けて十分な学習ができるのかについて不安を感じているのではないのでしょうか。自宅で取り組む学習課題は示されていますが、授業とは異なり、分からない部分も多く、なかなか先に進まないこともあると思います。今は、予習をしなければならないと思うより、復習に徹底して力を注ぎ、本番の入試の時まで、1・2年生の内容はもう復習しなくても大丈夫と思えるぐらいまで取り組むと良いと思います。ご家庭でも、時には、気持ちが萎えてしまうことがあると思いますが、目標を持ち続けるようにご指導をお願いいたします。

今後、授業が本格的に再開された時は、学習の進み方が例年より少し早くなるかもしれません。そのような場合でも復習がしっかりとこなされていれば、素早く理解できるようになるのではないかと思います。

【学習課題の扱いについて】

5月11日（月）以降の学習課題の扱いについてですが、文部科学省は、「年間指導計画に照らして、再開後の授業の中で、学校が指導していない内容全てを指導することがどうしても難しく、教育課程の実施に支障が生じるような事態に備え、学校が課した家庭学習の実施状況が一定の要件を満たす場合において、特例的に学校の再開後等に、当該内容を再度学校における対面指導で取り扱わないこととすることができる。」という方針を示しています。

ここでいう一定の要件とは、①教科等の指導計画に照らして適切に位置付くものであること②教師が当該家庭学習における生徒の学習状況及び成果を適切に把握することが可能であること③生徒に、十分な学習内容の定着が見られ、学校再開後に一律の授業において再度指導する必要が無いものと校長が判断したものであることとされています。府中市教育委員会からも校長が必要と判断した場合には、この趣旨に則った対応をしてもよいという指示がありました。このことを踏まえ、本校では、一部の教科において臨時休業中に学校が生徒に課した学習について、生徒が自宅において学習した内容の一部を教科担当の教員が把握し、履修したと判断できる場合には、再開後の授業では、内容の確認のみとし、次の単元に進むこともあります。なお、十分に履修ができていないと判断した生徒については、個別に補充学習等を行い、確実に習得できるように努めます。



学校行事の変更及び中止について

新型コロナウイルス感染防止の徹底のため、教科等の授業のほか、様々な活動が中止又は延期することになります。詳細は改めてご連絡申し上げることになると思いますが、主な学校行事の現状についてお知らせいたします。

【運動会について】

学校再開が延期されたことにより、当初の実施予定日（５月３０日）では、実施不可能となりました。２学期への延期も検討しましたが、年度当初から予定している２学期の行事すら実施が危ぶまれること、さらに、運動会実施のための練習等を行う時間を追加で確保する余裕がないことから、今年度については中止することといたしました。

【修学旅行について】

学校再開が６月にずれ込む状況になったことにより、出発予定であった８月３０日までに新型コロナウイルス感染の状況が改善するとの確信を得ることが難しく、安心して宿泊を伴った行事が実施できると判断できる状況にありません。現時点でできることは、少しでも実施の可能性を高めるために思い切って大幅な実施日の変更をすることであると判断しました。訪問先については変更せず、京都・奈良方面で可能な限り調整してまいります。宿泊地については京都２泊の予定が、奈良１泊・京都１泊となる可能性もあります。

【合唱祭について】

９月半ばから本格的に練習を開始し、１０月１０日（土）の本番を迎える計画を立てていますが、音楽の授業でも、新型コロナウイルスの飛沫感染防止の徹底のために歌唱指導は行わないことになっている現状を踏まえると、当初の日程での実施は誠に不現実と言わざるを得ません。状況によっては、実施時期を延期せざるを得ないかもしれないと思っています。そのため、少なくとも会場については、例年実施している“どりーむホール”から本校アリーナに変更し、日程等の変更に柔軟に対応できる体制を整える必要があります。そのため、日程は現時点では当初の１０月１０日（土）としますが、会場を本校アリーナといたします。なお、このことに伴い、プログラム内容の変更もあることをご了承いただきたいと思っています。

令和２年度 部活動顧問について

現在、部活動は活動中止となっていますが、今年度の部活動の顧問をお知らせします。

男子バスケットボール	元木・佃
女子バスケットボール	本田・佃
女子バレーボール	長谷川・岩崎
男女ソフトテニス	石井・臼井
野 球	山崎・長尾
陸上競技	開上・田中
サッカー	乙顔・村岡
剣 道	田之岡・中村
ウインドアンサンブル	宮崎・長尾
美 術	小林功・田中
男女硬式テニス	丸山浩・中村
卓 球	佐藤・岩崎
技 術（２・３年）	小林里・村岡
文 芸（２・３年）	小林里・村岡
家 庭 科	笹森・首藤

